

## 市長あいさつ



皆さん、おはようございます。

52名のジュニア議員の皆さん、またお会いすることができましたね。今、宇都宮の歌を歌っていただきました。私が小学生の頃は、学校に入学すると、校歌、県民の歌、そして宇都宮の歌、これを必ず教わっていました。今は、なるべく先生方にもそういう時間をとっていただくようにお話ししていますが、ぜひ皆さんには、各学校に帰っていただいたら、宇都宮の歌を歌ってみようと、そんなことも投げかけていただければと思います。

さて、宇都宮市も3月31日に河内、そして上河内と合併して50万都市になりました。50万都市は中核市の中でも大きな都市でありますし、北関東3県の中で最も大きな都市であります。

でもこの50万という数字であります。いつまでも自慢できる数字ではありません。というのも、これから日本全体が人口減少に入っていきます。宇都宮も、2015年がピークとなります。人口はおよそ51万1千人位。そこから転じて、その先は人口が減っていくわけでありませけれども、人口が減るといことはどういうことなのかということ、ぜひ考えていただきたいと思ひます。

人口が減るといことは、税収が減ります。税収が減り、人も減る訳ですから活力がなくなり、今まで皆さんが受けていた行政からのサービスが、受けられなくなる可能性もありますし、また、質が低下してしまう恐れもあります。決してそうならないように、今、皆さんが行政から受けているサービスが、宇都宮ではこれからも受けることができ、その質もどんどん上がり、より良いサービスを皆さんが受けられる。そういうまちを築いていかなければなりませんし、そういうまちが日本の中で存在するといことは、他のまちから、うらやましい、そして、宇都宮だったら移り住んでみたい、そして、住んでいる皆さんも、他の都市よりもサービスが良いから、あるいは暮らしやすいから、住みやすいから、そういう理由で宇都宮の人口が少しでも減らないように、あるいは逆に、増えていく可能性といったものを、これから作っていかないといけないと思ひます。

そのために、今、宇都宮では懸命に財政の改革をしています。特に市債残高という借金です。借金をどんどん減らしてあります。皆さんが大人になってからも、そして、これから生まれてくる子どもたちが借金を背負わない、負の遺産を背負わない、そういうまちを作っていくために、懸命に今、財政改革をしています。8年後位には、すばらしい財政状況になるでしょうし、人口の減少にも耐えられるだけの財政の基盤を作っていきたいと

思います。安心をしていただきたいと思います。

でも一方で、財政改革をして、財布を締めるだけではいけません。もう一つは魅力あるまちを作っていかなければなりません。他のまちとも一線を画して、一つ頭が抜きん出たというまちを作っていくためには、今日、皆さんからいただく提案、あるいはご意見、こんなまちになったらどうでしょうか？こんな政策をしたらどうでしょうか？そういうものの中で、本当に良いものがあれば、来年度の予算にも反映して、そして、本当の議員さんたちにこの場でご審議をいただく、そういう方向に持っていきたいと思っております。ですから、みなさんは長時間に渡って勉強されて、今日のジュニア未来議会に臨む訳でありますから、堂々と、そしてはっきりと、政策提言をしていただきたいと思っておりますし、宇都宮市の幹部職員に質問をぶつけていただきたいと思っております。

皆さんの今までの努力に心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げまして、この後の質疑、そして答弁を楽しみにさせていただきます。最後までよろしく申し上げます。ありがとうございました。

## 5

### 市議会議長あいさつ



ジュニア議員の皆さん、おはようございます。市議会議長の篠崎光男でございます。

今日は、皆様方が、これまで色々と事前調査、勉強してまとめ上げた成果を発表する本会議の日でございます。

発表を担当する方は、今、市長さんから話がありましたように、堂々と、胸を張って、大きな声で発表していただきたいと思っております。

皆さんの質問に対して、市長さんをはじめ、担当の次長さんが誠意を持って答弁いたします。

これまで、ジュニア議員の提案は、宇都宮市の政策として取り上げて、実際に行っているものもございます。私も、本日の皆さんの提案が、今後の市政に反映されるものと大いに期待しております。そして、将来、皆さんが宇都宮市をより良いまちへと導くリーダーになっていただきたいと思っております。

結びに、今日のジュニア未来議会が、若い皆さんにとって、ずっと思い出に残る有意義な経験となることを心から願って、あいさついたします。

がんばってください。